田んぼできずなづくり会員の皆さま

皆様、こんにちは。
今年も無事に（なんとか）田んぼできずなづくりの活動が終わろうとしています。
参加してくださった皆さま、参加はできなくても心を寄せてくださった皆さま、ありがとうございます。

３月末の水路の泥出し（冬の間使わない水路は泥が溜まっています）、籾の芽出し（積算１００度まで水につけて種もみの芽を出します）、代掻き、お田植え、草取り、夏祭り稲刈、脱穀、収穫祭とここまできました。

今年も色々なことがありました。お田植えを直前に控えたある日の大雨で、山にたまっていた倒木や土砂が田んぼ脇の山から大量に流れ込み、息を呑むような光景でした。地元の方が早々に動いてくれて、重機で土砂を取り除き、お田植えを迎えました。

新たに取り入れたこととしては「チェーン除草機」です。ものほし竿にチェーンをたくさん取り付けた有機農業界の草取り機です。こちらを先輩の NPO につくり方を教えてもらい、手作りをして６月～７月の６回に渡り、筋トレのように田んぼの中を引くという草取りを行いました。毎週、交代で田んぼに行き、土の中に隠れている小さな雑草をチェーン除草で抜いていくという作業でした。

細やかな草取りの甲斐あって稲の分けつが例年より進み、少し稲が太めになったかなと思い収穫期を迎えましたが、稲刈りの季節には“雨”に泣かされました。２度目の農林２２号の脱穀は雨続きで延期が続き、脱穀をした時には、“干していた稲から芽が出ていた”という 10 年目にして初めての経験もしました。（ブルーシートをかけていたのですが、雨が通ってしまい、芽が出てしまったようです）

それでも、草取りや土づくりの甲斐があってか、ここ例年よりは収穫量が多かったです（１５％増くらい）この分は分け隔てなく、皆さんにお分けさせていただきました。

無農薬でのお米作りを素人が行っていますので、毎年何かしらの失敗や獣害もあり多くの収穫量を得られることはできていませんが、田んぼできずなづくりという名前の通りたくさんの「きずな」をつくることができていることが、何よりの喜びです♪

さて、今年は活動を始めて 10 年目となりました。（パチパチ！）
活動当初より、地元の千頭和文明さん、望月修身さん、章子さんご夫婦、望月武さん、大久保の遠藤好一さんをはじめ、お名前をあげきれないくらいたくさんの地元の皆様に力添えを頂いたおかげで続けてこれました。
　今年からは、新たに事務所として市川さんの「蔵」をお借りすることができています。
これも継続して参加してくれているからという地域の方々からの贈り物だと思っています。

　来年以降もこの地で引き続き「田んぼできずなづくり」を続けていきたいと思っています。田んぼの先生・修身さんも、私たちも初めてから 10 年という月日が経ち、同じように年を重ねました。
またふとした時に足を運んでください。お待ちしていますね。

お礼の気持ちを込めて

一般社団法人風土人　田んぼできずなづくり　代表　豊田　有希

今年一年を写真でご紹介！

１０周年Ｔシャツ作りました！
合言葉は、「ありがとう、１０周年」
いろんな人が支え、楽しんでくれたこの活動。本当にありがとうございます！

これが噂のチェーン除草

雑草は抜ける。稲は一度倒れても、また起き上がります。筋トレに！

毎年子供向けの模擬店を担当しています。今年も子供が大活躍。
火祭りの様子

夏の田んぼ。すくすくと育ってくれました。

稲刈男子と修身さん

収穫したあけぼの大豆とさつまいも（焼き芋にしました）

収穫の喜びを今年も味わいました

稲刈後に干していた稲穂からこんな風に芽が出ていました。

収穫祭では子供も大人も楽しみました♪

皆さんから集めた「田んぼできずなづくりとは？」色紙。